

道徳科 学習指導案

平成29年6月10日（土）学習指導Ⅲ （6の2教室）4年2組 指導者

I 主 題 本当の友達

II 考 察

1 主題観

(1) 育まれる主な資質・能力の三つの柱

③学びに向かう力・人間性等

友達を信じて、友達のためになることを進んで行おうとする態度

①知識・技能

友達を信じて、友達のためになることを進んで行うことについての理解

②思考力・判断力・表現力等

友達を信じて、友達のためになることを進んで行うことについての自己の考え

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

B 主として人との関わりに関すること

10 友情，信頼 [第3学年及び第4学年]

友達と互いに理解し，信頼し，助け合うこと。

(3) 主題や教材の価値

本主題は「友情，信頼」の内容項目のうち，友達を信じて，友達のためになることを進んで行うことの大切さについて考える学習である。その価値は以下のとおりである。

友達を信じて，友達のためになることを進んで行うことは大切である。なぜなら，友達が自分の思いを理解してくれると信じて，友達のためになることを進んで行うことは，互いに信頼する気持ちを生み，信頼し，助け合う友達関係を築くことにつながるからである。しかし，人間は，友達に間違いを指摘する際など，友達に嫌われてしまうのではないかという不安から，友達のためになることであっても進んで行動することができないこともある。だからこそ，友達を信じて，友達のためになることを進んで行おうとする態度を養うことが大切となる。

子どもたちの多くは，係の仕事を忘れていた友達に声をかけたり，忘れ物をした友達に物を貸したりするなど，友達のためになる行動ができていた。しかし，友達が間違いをした際には，友達に嫌われてしまうのではないかといった不安から，間違いを伝えられないこともある。このような子どもたちが，友達を信じて，友達のためになることを進んで行うことの大切さについて考えることは，友達のためになることを進んで行おうとする態度を養うことにつながる。

そこで，教材「絵はがきと切手」（文溪堂）を使用する。教材の内容及び価値は，以下のとおりである。

主人公のひろ子は，友達の正子から送られてきた絵はがきが料金不足であったことを兄から教

わる。料金不足を伝えたときの正子の気持ちが気になり、伝えようか迷うひろ子だったが、正子と過ごした日々を思い出す内に、正子がこれから他の人にも同じような絵はがきを送るかもしれないと考え、料金不足を伝えようと決心をする、という内容である。

これらの登場人物の姿から、子どもたちは、友達の反応を気にして間違いを伝えることができない人間の弱さに気付くことができる。そして、その弱さを乗り越えて、友達を信じて、友達のためになることを進んで行くことの大切さについて考えることができる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、4年「友達だから」での、互いの信頼の下、相手のために時には厳しく接し、助け合う友達関係のよさについて考える学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちはこれまでに、3年「友達がいてよかった」において、友達の思いを汲み取り、自分のできることをすることの大切さについて考える学習をしてきた。この学習で明らかになった子どもたちの実態及び本主題を進めるにあたっての指導方針は、以下のとおりである。

- ① 友達の思いを汲み取り、自分のできることをすることが、互いに助け合う友達関係につながることを理解してきている。このような子どもたちが、友達を信じて、友達のためになることを進んで行くことが、互いに信頼し、助け合う友達関係につながることを理解できるように、主人公が、料金不足を友達に伝える決心をした理由を問う学習課題を設定する。
- ② 友達の思いを汲み取り、自分のできることをすることについて、自分との関わりで、多面的・多角的に考えることができている。このような子どもたちが、友達を信じて、友達のためになることを進んで行くことについて、自分との関わりで、多面的・多角的に考えられるように、主人公が料金不足を伝えたときと伝えなかったときの友達の気持ちを話し合う活動を設定する。
- ③ 友達の思いを汲み取り、自分のできることをしようとする態度を養ってきている。このような子どもたちが、友達を信じて、友達のためになることを進んで行おうとする態度を養えるように、学習したことを基に今までの自らの生活を振り返り、これからしていきたいことを記述する学習プリントを用意する。

Ⅲ 指導計画 ※Ⅲについては、別紙参照

Ⅳ 本時の学習

- 1 ねらい 主人公が、料金不足を友達に伝える決心をした理由について話し合うことを通して、友達を信じて、友達のためになることを進んで行くことの大切さに気づき、実践しようとする態度を養う。
- 2 準備 場面絵 学習プリント
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 友達のためにしていることを発表し合い、教材から学習課題「なぜ、ひろ子さんは、料金不足であることを伝えようと決めたのだろう」をつかむ。	○今までの友達のためになることを行うことについての価値観を自覚することができるように、友達のためにしていることを問いかける。 ○友達に間違いを伝えることについて、自分の考

- ・友達が困っていたら、「どうしたの」と声をかけるようにしているよ。
- ・自分ならどうしたらいいか迷って、伝えられないかもしれないな。
- ・ひろ子さんは迷ったけれど伝えようとしているから、自分と違うな。友達のためになることでも、言いづらくて伝えられないときもあるな。

2 学習課題の解決に向けて話し合う。

- ・ひろ子さんは、「正子さんのためには言った方がいい」と思ったからだと思うよ。
- ・伝えなかったら、正子さんはそのときは平気でも、後で困って嫌な気持ちになるかもしれないな。伝えたら、そのときは嫌な気持ちになるかもしれないけど、後でひろ子さんの気持ちに気付いて、ひろ子さんにありがたと思うのではないかな。
- ・ひろ子さんは、友達のためには伝えなくてはいけないうって思っていたけれど、もし伝えて、正子さんに嫌われてしまったら嫌だと思ったから迷ってしまったのだと思うよ。
- ・不安はあるけれど、友達ならわかってくれると信じたからだと思うな。

3 今までの自らの生活を振り返り、これからしていきたいことを発表し合う。

- ・授業中に、友達の意見が間違っていたときに、間違っていることを伝えた方がよいと思うことがあったな。だけど、友達が嫌な気持ちにならないか不安になってしまって、なかなか伝えられなかったことがあったよ。
- ・今までは、友達が怒ったら嫌だなと思ってしまって、友達のためになることだと分かっているけど、ちゃんと伝えられないことがあったな。だけど、大切な友達なのだから、自分のことをわかってくれると信じて、これからは友達のためになることを進んでいきたいな。

えをもてるように、教材「絵はがきと切手」を区切って範読し、料金不足の絵はがきを受け取った際に、料金不足を友達に伝えることの判断を問いかける。

○友達のためになることを進んで行うことについての問題意識をもてるように、料金不足を伝えることについての自分と主人公の判断の共通点や相違点と、その理由を問いかける。

○学習課題に対する自分なりの考えとその根拠を明確にして話し合えるように、学習プリントに記述した自らの考えを発表するよう促す。

○友達を信じて、友達のためになることを進んで行うことについて、多面的・多角的に考えられるように、「主人公が料金不足を伝えたときと伝えなかったときの正子さん」の視点を提示し、それぞれの場合の気持ちを問いかける。

○友達を信じて、友達のためになることを進んで行うことの難しさを理解できるように、主人公が迷った理由を問いかける。

○友達を信じて、友達のためになることを進んで行うことの大切さについての理解を深められるように、人間の弱さを乗り越えて、主人公が料金不足を伝える決心をすることができた理由を問いかける。

○ねらいとする価値についての今までの自らの生活を振り返られるように、友達のためになることをしようとして迷った経験を問いかける。

○よりよい自己の生き方についての思いや願いを明確にできるように、これからしていきたいことを学習プリントに記述するよう促す。

評価項目

友達を信じて、友達のためになることを進んで行うことについて、多面的・多角的に考えたことや、自分との関わりで考えたことを、発言したり記述したりしている。

<発言・学習プリント>

○これからの生活への意欲をもてるように、生活の見通しを具体的にもてた子どもを賞賛する。

指導計画（全1時間）

目 標	友達を信じて、友達のためになることを進んで行うことが、互いに信頼し、助け合う友達関係につながることを理解し、実践しようとする。
教材	絵はがきと切手（文溪堂）
主題 構成	主人公が、友達の正子さんに料金不足を伝えるかを迷いながらも、最後に伝えようと決心した理由について、料金不足を伝えた場合と伝えなかった場合の正子さんの気持ちに目を向けて考え、互いに信頼し、助け合う友達関係を築くためには、友達を信じて、友達のためになることを進んで行うことが大切であることに気付けるようにする。
事前	○困っている友達に進んで声をかけたり、手伝ったりしている子どもを賞賛する。
本時	<p>○友達のためにしていることを発表し合い、教材から、学習課題「なぜ、ひろ子さんは、料金不足であることを伝えようと決めたのだろう」をつかむ。</p> <p>○料金不足であることを伝えた場合と伝えなかった場合の正子さんの気持ちを考え、学習課題の解決に向けて話し合う。</p> <p>○今までの自らの生活を振り返り、これからしていきたいことを学習プリントに記述し、発表し合う。</p>
事後	○言いづらいことでも、友達のためを考え、友達を信じて伝えている子どもを賞賛する。
他の 教育 活動 との 関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活で、友達の間違いを指摘したり、友達に助言したりする場面。